

SUPER 11 ⑥ 語彙に強くなる特別ゼミ

【1】接頭辞問題(1～2)

(1) 接頭辞 pro- の表す意味として最も適切なものを①～④から1つ選びなさい。

- ① 前へ ② 下へ ③ 共に ④ 外へ

progress・proceed・produce・promote・project

(2) 接頭辞 counter- の表す意味として最も適切なものを①～④から1つ選びなさい。

- ① 上へ ② 反対・対抗して ③ 中へ ④ 再び

counterattack・counterargument・*countermeasure・counterpart

【2】語尾・品詞問題(3～4)

(3) -ant で終わる語の品詞は何か。

例:important, pleasant, distant, constant, significant

(4) -ence で終わる語の品詞は何か。

例:difference, confidence, existence, influence, silence

【3】語源問題(5～9)

(5) 語源 form の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 形づくる・形 ② 走る ③ 信じる ④ 投げる

form・inform・reform・transform・conform

(6) 語源 cur / curs の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 走る ② 見る ③ 書く ④ 保つ

current・course・occur・recur・excursion

(7) 語源 sequ / secu の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 従う ② 引く ③ 回る ④ 運ぶ

sequence・consequence・subsequent・pursue・execute

(8) 語源 fin の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 終わり・境界 ② 始まり ③ 切る ④ 結ぶ

final・finish・finite・define・infinite

(9) 語源 dic / dict の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 言う ② 聞く ③ 見る ④ 作る

dictate・dictionary・predict・contradict・verdict

【4】多義語・品詞問題(10～11)

(10) only の語の主な使い方(品詞)を答えなさい。

only()()()

(11) well の語の主な使い方(品詞)を答えなさい。

well()()()()

解答

(1) ① 前へ (2) ② 反対・対抗して (3) 形容詞 (4) 名詞 (5) ① 形づくる・形 (6) ① 走る (7) ① 従う (8) ① 終わり・境界 (9) ① 言う (10) 形容詞・副詞・接続詞 (11) 副詞・形容詞・動詞・名詞

解答解説

(1) pro- :① 前へ

解説:pro- は「前へ」「前に」を表す接頭辞。

progress[prəgrés]「進歩する」= pro(前へ)+ gress(進む)→ 前へ進む / proceed[prəsi:d]「進む」= pro(前へ)+ ceed(行く)→ 前へ行く / produce[prədjú:s]「生産する」= pro(前へ)+ duce(導く)→ 前へ導き出す / promote[prəmóut]「促進する」= pro(前へ)+ mote(動かす)→ 前へ進める / project[prədʒékt]「投影する・計画する」= pro(前へ)+ ject(投げる)→ 前へ投げる。語源の中心は「前へ」である。

(2) counter- :② 反対・対抗して

解説:counter- は「反対に」「対抗して」「逆に」を表す接頭辞。

counterattack[káuntərətæk]「反撃」= counter(反対・対抗して)+ attack(攻撃)→ 攻撃し返す / counterargument[káuntərà:gjəmənt]「反論」= counter(反対に)+ argument(議論)→ 相手の主張に対する議論 / countermeasure[káuntərmèzər]「対策・対抗策」= counter(対抗して)+ measure(手段)→ 問題や攻撃に対抗する手段 / counterpart[káuntərpà:rt]「対応する人・もの」= counter(反対側の)+ part(部分)→ 別の組織や場所で同じ役割をもつ人・もの。語源の中心は「反対・対抗」である。

(3) -ant :形容詞

解説:-ant は「～の性質をもつ」「～している」などを表す形容詞語尾として使われる。

important[impó:rtənt]「重要な」/
pleasant[plézənt]「楽しい・心地よい」/
distant[dístənt]「遠い」/ constant

[kánstənt]「一定の・絶え間ない」/

significant[signífikənt]「重要な・意味のある」。ただし、assistant, applicant, participant など、-ant が「～する人」を表す名詞を作る場合もあるため注意が必要である。

(4) -ence :名詞

解説:-ence は「状態・性質・行為」などを表す名詞語尾。

difference[dífərəns]「違い」/
confidence[kánfidəns]「自信」/
existence[igzístəns]「存在」/ influence[ínfluəns]「影響」/ silence[sáiləns]「沈黙」。different → difference、confident → confidence、existent → existence のように、形容詞の -ent に対応して -ence の名詞になるものが多い。語尾から品詞を判断する際の重要な手がかりである。

(5) form :① 形づくる・形

解説:form は「形」「形づくる」を表す語源。

form[fó:rm]「形・形成する」= 形を作る / inform[infó:rm]「知らせる」= in(中へ)+ form(形づくる)→ 心の中に形を与える → 知らせる / reform[rifó:rm]「改革する」= re(再び)+ form → 形を作り直す / transform[trænsfó:rm]「変形させる・一変させる」= trans(越えて)+ form → 別の形へ変える / conform[kənfó:rm]「従う・一致する」= con(共に)+ form → 同じ形にする。すべて「形・形づくる」というイメージでつながる。

(6) cur / curs :① 走る

解説:cur / curs は run「走る・進む」を表す語源。

current[ká:rənt]「流れ・現在の」= cur(走る)→ 絶えず流れているもの / course

[kɔ:rs]「進路・過程」= curs(走る)→ 走って進む道 / occur[əkə:r]「起こる」= ob(～へ)+ cur(走る)→ こちらへ走って来る → 起こる / recur[rikə:r]「再発する」= re(再び)+ cur → 再び走って来る / excursion[ikskə:rʒən]「小旅行」= ex(外へ)+ curs(走る)→ 外へ出て行く。語源の中心は「走る・進む」である。

(7) sequ / secu :① 従う

解説:sequ / secu は follow「後について行く・従う」を表す語源。

sequence[sí:kwəns]「連続・順序」= sequ(従う)→ 一つのものが次のものに続くこと / consequence[kánsikwəns]「結果」= con(共に)+ sequ(従う)→ 後についてくるもの → 結果 / subsequent[sábsikwənt]「その後の」= sub(後に)+ sequ → 後に続く / pursue[pərsú:]「追求する・追いかける」= sue(sequ と同系)→ 後について行く / execute[éksikjù:t]「実行する」= secu(従う)→ 計画や命令に従って最後まで行う。語源の中心は「後について行く・従う」である。

(8) fin :① 終わり・境界

解説:fin は end「終わり」, boundary「境界・限界」を表す語源。

final[fáinəl]「最後の」= fin(終わり)→ 終わりにある / finish[finiʃ]「終える」= fin(終わり)→ 終わりにする / finite[fáinait]「有限の」= fin(境界)→ 限界がある / define[difáin]「定義する」= de(はっきりと)+ fin(境界)→ 意味の境界をはっきり定める / infinite[ínfənət]「無限の」= in(～でない)+ finite(有限の)→ 限界がない。define=「意味の境界を定める」と考えると、語源と現在の意味が結びつきやすい。

(9) dic / dict :① 言う

解説:dic / dict は say「言う・述べる」を表す語源。

dictate[díkteit]「口述する・命令する」= dict(言う)→ 言葉を言って書き取らせる / dictionary[díkʃənəri]「辞書」= dict(言う・言葉)→ 言葉を集めたもの / predict[pridíkt]「予測する」= pre(前もって)+ dict(言う)→ 前もって言う / contradict[kàntɹədíkt]「反論する・矛盾する」= contra(反対に)+ dict → 反対のことを言う / verdict[vé:rdíkt]「評決」= ver(真実)+ dict(言う)→ 真実を述べる → 裁判で下される判断。語源の中心は「言う」である。

(10) only :形容詞・副詞・接続詞

解説:only は形容詞・副詞・接続詞として使われる。

He is an only child.(彼は一人っ子だ)では形容詞で「唯一の」。I only asked a question.(私はただ質問しただけだ)では副詞で「ただ～だけ」。I would go, only I am too busy.(行きたいのだが、あまりにも忙しい)では接続詞で「ただし・しかし」。また、Only then did I understand the truth.(そのとき初めて私は真実を理解した)のように、only+副詞(句・節)が文頭に置かれると倒置が起こることがあり、大学入試では特に重要である。

(11) well :副詞・形容詞・動詞・名詞

解説:well は副詞・形容詞・動詞・名詞として使われる重要な多義語。

She speaks English well.(彼女は英語を上手に話す)では副詞。She is well now.(彼女は今は元気だ)では形容詞。Tears welled up in her eyes.(彼女の目に涙があふれた)では動詞で「湧き出る・あふれ出る」。They get their water from a well.(彼らは井戸から水を得ている)では名詞で「井戸」。特に good は形容詞、well は基本的に副詞という区別に加えて、well=「健康な」では形容詞になることも押さえておきたい。